



新年のご挨拶



群馬県中小企業団体中央会

会長 金子正元

皆様には、ご健勝にて、輝かしい平成26年の新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

我が国経済は、第二次安倍内閣が打ち出した「三本の矢」から成る経済対策により、中小企業・小規模事業者対策を始めとする諸施策が講じられ、現在、回復過程にあるとされております。

一方、本県の中小企業を取り巻く状況は、自動車関連企業など一部において明るい側面も見受けられますが、本会調査によると、円安傾向の中で、電気料金の負担増や燃料価格の高止まり、原材料価格の上昇などにより、製造業・非製造業を問わず、思うように収益

改善が図れない多くの中小企業の姿が見て取れます。

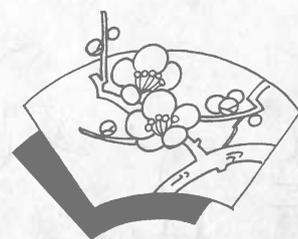
こうした経営環境下において、中小企業経営の充実を図るために、本会では、中小企業連携組織の専門機関として、組合組織の強化と共同事業のさらなる充実に向けた支援を積極的に推進しております。

昨年は、国の施策である「ものづくり中小企業・小規模事業者試作開発等支援事業」いわゆるものづくり補助金に関して、本会は地域事務局としての取り組みを行いました。その結果、各企業の努力はもとより、金融機関等の多くの支援機関や県をはじめとする関係行政機関等の連携により、全国の採択件

数10、516件のうち群馬県からは403件が採択され全国第7位となり、本県のものづくり産業の底力を全国に示すことができました。

こうした実績を踏まえ、本年においても、連携組織の専門支援機関としての役割を自覚し、中小企業組合の機能強化と中小企業の経営体質強化に向けた諸事業を積極的に展開するとともに、県内中小企業が直面する課題解決に向けて、役員が一丸となつて取り組んでまいり所存です。

本年が、皆様方にとりまして、大いなる飛躍の年となることを心より祈念申し上げ、年頭のご挨拶と致します。



新年のご挨拶



群馬県知事

大澤 正明

明けましておめでとございませう。

群馬県中小企業団体中央会の皆様におかれましては、清々しい新年をお迎えのことと、心からお喜び申し上げます。

昨年は、新政権による経済政策などにより県内景気にも明るい兆しが見え、スポーツでも、前橋育英高校が夏の甲子園大会初出場でも、全国制覇、大学野球でも上武大学が初優勝するなど、本県勢の大活躍は県民に勇気と感動を与えてくれました。また、長年にわたる課題であった八ッ場ダムも、本体着工と地元的生活再建に向けて大きく前進した1年となりました。

さて今年は何年、群馬県飛躍の年です。

6月には、いよいよ「富岡製糸場と絹産業遺産群」の世界遺産登録が期待されます。登録決定に向けて万全を期すとともに、県民の誇りであるこの貴重な遺産を国内外に積極的に発信し、観光や地域振興に生かす取り組みを進めて参ります。

また、景気回復の動きを県内隅々に行き渡らせ、経済の持続的な成長につなげていく必要があります。首都圏から100kmという群馬の立地を生かし、私が先頭に立つて企業誘致など経済の活性化に取り組みとともに、北関東自動車道の開通により形成された高速道路の十字軸を最大限に活用できるよう、「7つの交通軸」の整備を完成年度を明示して着実に進めて参ります。

新たな経済需要をもたらす取り組みも重要です。北陸新幹線が金沢まで延伸いたしますと、本県の拠点性がより高まります。こうした追い風を捉え、交流人口を増加させるための中核施設として、高崎競馬場跡地にコンベンション施設の整備を進めて参ります。また「群馬がん治療技術地域活性化総合特区」を活用した医療産業の振興など、次世代を担う

産業の発展や、アジアからの観光誘客や農畜産物の輸出にも、力を注いでいきたいと考えております。

本県の経済成長をより確実なものとし、新たな産業の創出・発展を図るには、地域の経済と雇用を支える中小企業の皆様の力が不可欠であります。特に、中小企業が連携することによってそれぞれの強みを生かし、より大きな力としていく中小企業組合は、中小企業の振興に向けその役割が大いに期待される所です。

県では、中央会をはじめとする関係機関と連携し、中小企業や中小企業組合の力強い成長と発展を引き続き支援して参ります。

群馬の可能性を高め、さらに大きく羽ばたいていくため、今年も、「現場主義」と「県民目線」で県政運営に取り組み、県民の皆様と力を合わせて、ふるさと群馬の発展に全力を尽くす決意であります。

本年が貴会並びに中小企業組合の皆様にとって、一層の飛躍の年となることを心から祈念申し上げます、新年のあいさつといたします。



年頭に当たって

全国中小企業団体中央会



会長 鶴田 欣也

新年、明けましておめでとございませう。

我が国経済は長く続いたデフレからの脱却をうかがう局面に入ってきましたが、中小企業は、電気料金、燃料・原材料等の高騰に伴うコスト増により、収益状況が依然として低い水準に止まるなど景気回復の実感が伴わない厳しい状況が続いています。加えて、今年4月1日から実施される消費税率の8%への引上げにより、その影響に堪え、乗り越えられるのか先行きが見通せない経営環境にあります。

政府は、昨年9月から「経済の好循環実現に向けた政労使会議」を開催するなど物価の上昇とそれに見合う賃金上昇に向けた検討を行っています。私は、中小企業を代表して、この政労使会議に参画し、安倍総理に対して、中小企業の生産性向上に向けた設備投資や地域のインフ

ラづくり等の促進、下請け代金の引上げ等を強く要望するとともに、中央会として、ものづくり補助金等の施策をフルに活用して、中小企業が賃上げできうる経営状態になるよう全力を尽くしていく旨申し上げました。今年は、中小企業が下から上を跳ね返すような組合魂を持って果敢にリスクに挑戦する年にしていきたいと考えています。

私は、昨年の通常総会で3期目の会長職を務めることとなりました。トップセミナーや各ブロック会長会議等における会長同志の交流は、東日本大震災の発生後、絆の力を被災地に届ける際に大いに活かされたと自負しています。間もなく震災発生から3年を迎えますが、被災地の組合と中央会の懸命な努力や山積する今後の課題への対応を思うと、全国中央会の責任の重さを感じ、身の引き締まる思いです。消費税率の引上げへの対応には、国内の消費動向や引上げ税率の転嫁状況を注視しつつ、価格競争力を強化するための経営支援、ものづくり補助金を活用した生産性の向上支援、設備投資等のための税制及び金融支援など、持てる支援策をフル活用して取り組んでいく必要があります。特に、中央会は、価格交渉力が弱い納入業者が割を食うことのないよう転嫁や表示カルテルの組成を図り、消費税の円滑な転嫁を成し遂げられ

るよう支援してまいります。

また、昨年秋口から中小企業政策審議会小規模企業基本政策小委員会等で討議されてきた小規模企業に焦点を当てた新たな法律が具体化します。小規模企業振興基本法（仮称）を早期に制定するとともに、必ず、小規模企業の連携・組織化支援を法文上に明確に位置づけてもらわなければなりません。小規模企業の開業率の向上には、女性が活躍している企業組合制度が効果的ですし、海外パートナーシップ等を活用した海外展開や黒字の小規模企業の増加を図っていくためには、企業間で連携していくことが効果的だと考えています。電力等エネルギーコスト、事業承継税制や個人保証等、そのほかに大切な政策課題は数多く残されていますが、一人ひとりの絆の力を結集して事に当たれば、必ず打開の道は拓かれるものと確信をしています。

2020年に東京において56年ぶりにオリンピック・パラリンピックが開催されます。6年後には、震災復興も完了し、組合等連携組織に集う多くの皆様とともに笑顔で「おもてなし」をしようではありませんか。

本年が皆様にとつて、好機を実感できる素晴らしい年となりますことを心からご祈念申し上げます。年頭に当たってのご挨拶といたします。

平成26年 元旦

新年のご挨拶

株式会社 商工組合中央金庫前橋支店



支店長 中島 潔

明けましておめでとうございます。

旧年中は商工中金の業務運営に対しまして格別のご高配を賜り、誠にありがとうございました。この場をお借りしまして、厚く御礼申し上げますとともに、新しい年が皆さまにとりまして幸多き年となりますよう、心からお祈り申し上げます。

さて、昨年の経済を振り返りますと、わが国の景気は政府の経済政策への期待から年初より株高が進行し、消費者マインドの改善や大型補正予算の効果により、個人消費や公共投資を中心に持ち直しの動きとなりました。その後も、日本銀行の金融緩和を受けた円安効果や海外経済の回復により輸出環境が改善したことから、企業の生産活動も次第に活発

化しました。当金庫の「中小企業月次景況観測」でも、個人消費の盛り上がりや復興投資に牽引されて中小企業の景況感を持ち直しつつあり、10月の景況判断指数は好転・悪化の境目となる50を6年7カ月ぶりに上回りました。但し、円安や原材料高・電気料金の値上げ等によるコストの上昇を販売価格に転嫁できない中小企業も多いのが実態であると思います。

このような環境のもと、商工中金は、当面の資金繰りに不安を抱える中小企業の皆さまに対し、組織をあげてセーフティネット機能の発揮に取り組んでおります。平成23年5月より取扱いを開始した東日本大震災復興特別貸付については、全国で（平成25年10月末時点）、3万7千件、2兆1千億円を超え、これらを合わせた危機対応業務全体の累計実績は制度開始以降、14万9千件、8兆9千億円を超える規模となりました。こうした、中小企業の皆さまの資金繰りや経営の安定化へのサポートを通じて、当前橋支店も県内の雇用維持・経済の安定に多少なりとも貢献することができたのではないかと考えております。また、中小企業の皆さまの企業価値向上に向けては、「成長・創業支援プログラム」を活用

し、全力でサポートしてまいりました。同プログラムは、全国で累計実績1万2千件、6千億円を超えるなど、着実に成果を上げております。

商工中金前橋支店としては、引き続き皆さまからのご相談に対して、懇切・丁寧・迅速な対応に努め、危機対応業務を中心にセーフティネット機能の発揮に全力を挙げて取り組んでまいります。また、新たな成長に向けた設備計画へのサポート等、お取引先の皆さまが抱える経営課題に対し、質の高いソリューションを提供してまいりたいと思っております。

「中小企業の、中小企業による、中小企業のための金融機関」として、今まで以上に皆さまから信頼され、お役に立てるよう、群馬県中小企業団体中央会様をはじめとする関係各機関との連携を一層密にして、役員一同、全力で努力を続けてまいりますので、今後とも格別のご指導とお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、皆さまの益々のご繁栄とご健勝をお祈りいたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。